

1 PLAN(目的・概要)

その他経常業務

政策名	安全		25年度事業・施策評価結果			責任者	建設部 施設事務所長
施策名	港の安全性・信頼性の向上		成果	コスト			
事務事業名	堀川口のポンプ施設・防潮水門及び港内の防潮扉等の管理・運用		継続	維持	維持	連絡先	052-661-5282
目的	対象(誰・何を)	ポンプ施設・防潮扉等				事業期間	昭和26年度～継続
	意図(どういう状態にしたいか)	適正に管理し、災害に備え常に異常なく稼働します。					
概要	堀川口の防潮水門・ポンプ施設および港内の防潮扉等について保守点検を行い、不良箇所を発見した場合は緊急度に応じた補修を実施します。					根拠法令等	海岸法第14条の5
活動内容	異常が確認された、または老朽化した設備については、自らまたは外部委託にて補修を行い、災害時に異常なく稼働するようにします。					実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
						関連シート	

2 DO(実施)

コスト	単位	24年度	25年度	26年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	131,897	270,014	334,085	245,332	耐波性の向上による防潮水門の機能アップによる増額
人件費	千円	76,526	76,913	77,343	76,927	
合計	千円	208,423	346,927	411,428	322,259	

3 CHECK(検証)

指標名		24年度	25年度	26年度	中間目標 30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因	
施設の年間試運転の回数(回) (単年度管理型)	目標	-	-	221	-	稼働施設(ポンプ、水門、防潮扉(締切状態の扉を除く))の年間総試運転回数を指標とします。 稼働施設数H24:45、H25:42、H26:42、H27:42		
	実績	214	215	221				
	事業進捗状況(平成26年度)	目標値を上回る 目標値をやや下回る		目標値どおり 目標値を下回る				
災害時の施設の故障発生件数(件) (単年度管理型)	目標	-	-	0	0	稼働施設の災害時の故障発生件数(年間)を指標とします。		
	実績	0	0	0				
	事業進捗状況(平成26年度)	目標値を上回る 目標値をやや下回る		目標値どおり 目標値を下回る				
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	堀川口防潮水門・ポンプ施設・防潮扉等について直営及び委託による試運転、点検修理及び委託による定期点検、計画的な維持修繕を実施し、災害時に異常なく稼働しました。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○					海岸管理者として、災害発生時に被害が生じることを防ぐため、必要な事業です。	
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○						
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○					災害に備え、海岸保全施設としての機能維持ができ、災害時に異常なく稼働している。	
	期待どおりの成果が得られているか?	○						
効率性	最小のコストとなっているか?	○					計画的な維持修繕を実施する事で効率的な事業を実施しています。	

4 ACTION(取組)

課題	27年度以降の取組
施設の経年劣化に対応した適正な維持管理が要求されます。	災害発生を防止するため、効率的かつ適正な維持管理を図っていきます。